



# 笠山

阿久根市立三笠中学校  
学校便り 平成30年度8月号

学校教育目標  
未来を拓く、心豊かでたくましい生徒の育成

校訓	生活実践目標
自主	美:場を清める
協調	礼:礼を正す
持続	時:時間を守る

## あと13日後には2学期がスタート！

夏休みに入り、本日は2回目の出校日でした。ここまで大きな事故もなかったことに安堵しています。脇本地区子ども会球技大会(7/22)や阿久根みどこい夏まつり(7/28)、脇本元気祭り(8/11)等の地域行事では生徒の元気な姿が見られました。また、校内では汗びっしょりになりながらも練習に励む部活動生の姿、体育大会に向けて演舞づくりに打ち込む応援団員の姿、図書室で自習に取り組む姿なども見られ、夏休み中ながらも活気が感じられます。

さて、夏休みも残り少なくなりました。あと13日後は2学期のスタートです。時間は誰にとっても平等ですし、止めることは誰にもできません。13日後に2学期を迎えるということは県内はもちろん、一部の地域を除いてほぼ日本中の小・中学生にとって同じです。しかし、平等に与えられた時間の中で2学期に向けてどんな準備をするかで2学期のスタートは大きく変わってくるものです。

「**結果はコントロールできないが、準備はできる。できる準備をすべて終われば、準備にふさわしい結果がやってくる。**」これはイチロー選手の言葉です。準備について彼は次のように話しています。

### 結果は本番前に決まっている ～ 大きな成果は「完璧な準備」にある

「ハイレベルのプレイをするために、ぼくは絶えず体と心の準備をしています。自分にとっていちばん大切なことは、試合前に完璧な準備をすることです。そして『これだけ完璧な準備をしたのだから、どんな結果に終わろうとも後悔しない』という覚悟があります。」



### 準備とは「言い訳を排除する」こと

「ようするに“準備”というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、そのために考え得るすべてのことをこなしていく、ということですね。」

### 本番でベストを尽くそうと思っても、その前の周到な準備がなければ良い結果は引き出せない

「1打席のために、朝から、もっといえば、前の日のゲームが終わった時から、僕は(準備を)やるわけです。自分が納得できる準備をして本番に挑むのです。スターティングメンバーを外された試合でもいつ代打で呼ばれてもいいようにコンディションを整えています。フル出場のとくと同様に完璧な準備をしています。」

### 仕事のルーティンを疎かにしない ～ 日々取り組むことに例外を作らない

「試合を終えた後、ロッカーに戻るとすぐにスパイクを磨きます。次にオイルを使いながら入念にグラブの手入れを行います。家に帰ると、夕食までの間、自分のマシーンでトレーニングをし、翌日に備えます。夕食を食べて、そこからまたマシーンでトレーニングします。それから、2時間のマッサージを受けます。毎晩? そう、毎晩です。」

イチロー選手の華々しい活躍は試合に対する真剣な想いと入念な準備があったからこそだと改めて思います。いよいよ2学期です。生徒たちが意欲を持って2学期がスタートできるよう、特に次の点を各家庭でもご指導ください。

- ・ **学校があるときの生活リズムにする。** ～ 起床・就寝時刻の乱れを正す
- ・ **部屋の片づけ、整理整頓をする。** ～ 2学期への気持ちの切り替えは環境整備から
- ・ **2学期の目標を立てる。** ～ どんな2学期にしたいかイメージし、意欲を高める
- ・ **むし歯治療を終わらせる。** ～ 時間のある夏休みが治療を終えるチャンス
- ・ **体力づくりを行う。** ～ 2学期が始まって7日目は体育大会です。始業式の日から練習が行われます。バテないように体力づくりを!

(校長 四元 清路)

## 1 学期終業式・県大会壮行会 7月20日(金)

1 学期最終日は、どの学校でも終業式が行われますが、本校では終業式だけでなく、夏休みすぐに行われる県大会への壮行会も行いました。

県大会壮行会では、県総体に出場する運動部(陸上、女子バレー、剣道、柔道)と県吹奏楽連盟コンクールに出場する吹奏楽部を全校生徒で激励しました。このうち吹奏楽部は、コンクールで演奏する「西遊記～天竺への道」も披露しました。なお、7月24日から行われた県大会では、各部とも地区代表・三笠中代表という看板を背負い、それぞれ悔いなく頑張りました。次のステップへの思いは1・2年生部員へと引き継がれていくことでしょう。

また、終業式では、1年代表の梶尾さんが「入学して勉強が大変だったので、授業の受け方やノートのとり方を改善したい」、2年代表の松木君は「新チームのキャプテンとなったので、勉強も部活も頑張りたい」、3年代表の川上君は「合唱コンクールの取り組み方を反省し、体育大会に活かしたい」、生徒会代表の新穂君は「1学期の生徒会行事と同じように2学期も生徒一丸となって取り組み、成功させましょう」と、しっかりと反省と決意を述べてくれました。



## “限界突破” 三笠魂 半端ない(第72回三笠中体育大会スローガン) 体育大会練習 7月20日(金)



上記スローガンのもと、9月9日(日)の体育大会に向け練習が始まりました。開始にあたって、まず、応援団が紹介され、各団長に学校長から団旗が手渡されました。各団長・団員は団旗を引き継ぐことによって、伝統の重みを感じるとともに自分たちが主役の体育大会への希望を新たにしたいと思えます。結団式の後は運動場で入場行進の練習を行いました。両団とも最初とは思えないくらい堂々とした行進でした。次回は2学期始業式の日になります。本番当日は保護者の皆さんや地域の皆さんのご観覧をお待ちしております。



## 今年も吹奏楽部も…みんなで盛り上げました!! みどこい祭り 7月28日(土)



PTA総務部を中心に約100名の生徒・保護者・教員が、みどこい祭りに参加しました。今年も、踊り連の参加が昨年度よりも少なかったのですが、吹奏楽部がパレードに参加し、祭りを盛り上げてくれました。この暑さの中、歩きながらの演奏は大変だったのですが、沿道の拍手でがんばることができました。今年も踊り連は練習会を2回行い、その成果を十分に発揮できたようです。1,2年生は来年もっと多くの参加を期待しています。

## 阿久根市小中学校弁論大会 8月1日(水)

阿久根市では、8月1日の出校日の午後は、市内の小中学校の代表が集まり弁論大会が開催されます。本校からは、6月9日の校内弁論大会で最優秀賞になった3年1組の尾上夏希さんが出場し、他校の児童生徒や来賓の前で、緊張をおくびにも出さず、堂々と自分の考えを述べることができました。

本年度は協本地区公民館で開催されたため、本校生徒全員参加しましたが、落ち着いたすばらしい態度で、各校の代表者の弁論を聞いていました。



## 緊急メールへの登録を!

7月の紙面でも緊急メール(マチコミ)のご案内をいたしました。現在、登録者の方が、69名です。7月よりも増加はしたものの、全P戸数の半分程度です。

本サービスでは、スマホアプリの方だけではなく、緊急時の連絡だけでなく行事などの様子もタイムラインでご覧になることができます。2学期は台風接近も予想され、緊急連絡が増えるかもしれません。未登録の方は、すでに登録された方に内容等を聞いて、是非、登録をお願いします。



## 9月の行事予定

日	曜	行事等
3	月	始業式・体育大会練習
8	土	土曜授業 体育大会準備・練習
9	日	第72回体育大会(少雨決行・雨天時延期)
10	月	振替休日

日	曜	行事等
12	水	【心の教育の日】命の尊さについて
18	火	家庭教育学級(認知症サポーター養成講座)
参加希望者は9/7までに学級主事(教頭)まで申込んでください。		
27・28	木・金	中間テスト(1・2年)・実力テスト(3年)